

新型コロナウイルス感染症に対する海洋DAYキャンプガイドライン

- ◆ 海洋DAYキャンプに携わる職員は、毎朝検温と健康状態を確認する。
- ◆ 実施前・実施途中等こまめに手洗い、アルコール消毒、マスクの着用(艇庫付近での業務中)並びに、咳エチケットなどの感染症対策を行う。
- ◆ 艇庫集会室では、必ず南側の窓と北側のドアを開放し使用中は十分に換気を行い、密閉を避ける。(艇庫内は工場扇6台を有効に利用する。)
(但し、全員が浜にて活動途中は食中毒防止の観点から窓・ドアを閉め切ってクーラーに弁当を保管する)
- ◆ 艇庫内の集会室のドアノブ・テーブル・トイレのドアノブ・荷物置き場のテーブル・各部屋のスイッチ等を定期的に消毒する。
- ◆ 海洋DAYキャンプの実施については、以下の具体的な方法にて感染防止の対応を行う。
 1. 艇庫受付時に参加者全員の検温と体調確認を行う。
※遅れて参加される方も必ず上記チェックを行う。
※微熱や体調不良がある方は、参加を中止していただく。
 2. 会議室入室前、トイレ使用时、更衣室使用时には手の消毒を行う。
 3. 活動中も密集を避け、近距離での会話等をしないように職員が指導する。
 4. 出来る限り、参加者同士の接触を避けるように運営する。
※バディ指導等から全般の点呼時については手を繋かず挙手にて確認する。
※準備体操・救命胴衣着用説明並びに着用作業・運搬中の待機・集合写真撮影時等等など考えられる限り密を避ける。
※水上バイク運搬時は一人ずつ顔を互い違いにして感染防止に努める。
※活動中のウオータートーイに乗せる場合は、三人乗りの真ん中の席を空けて両サイドに分かれて座り距離を保つ。
※密にならない、同一方向に顔を近づけない、人と人との接触を避けることが困難なポンバーライドは今年度は使用しない並びに潮干狩りは実施を控えることで、感染防止を強化する。
※昼食の弁当を食べるときは同一方向を向いて食べる。
 5. 出来る限り使いまわしや共有しての利用を極力減らす。
 6. 参加者・保護者・付き添いの方も含め、マスク着用は任意とする。
 7. 持ち物水筒や購入した飲み物については必ず名前を記入し、他の参加者との誤飲を避ける。
 8. シャワー室・更衣室利用については、男女分けて待機者三人、シャワー使用者三人、更衣室使用者三人で終了後順次自分の席へ移動する。
 9. 今後の新型コロナに対する防止策が構築されれば、海洋DAYキャンプ運営時に素早く取り入れ対応する。
- ◆ 徳島県内での新型コロナウイルス感染発生や参加者が感染者として判明また、濃厚接触者と特定された場合は、以後の運営方法について徳島市教育委員会スポーツ振興課と徳島市体育振興公社で協議し決定する。